



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月4日

上場会社名 ソマール株式会社

上場取引所 東

コード番号 8152 URL <http://www.somar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 曾谷 太

問合せ先責任者 (役職名) F&A部長

(氏名) 今井原 俊彦

TEL 03-3542-2152

四半期報告書提出予定日 平成23年11月8日

配当支払開始予定日

平成23年12月12日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,018	△11.6	0	△99.7	△33	—	△58	—
23年3月期第2四半期	13,596	9.9	210	276.1	172	308.0	25	352.9

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △168百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △111百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△3.00	—
23年3月期第2四半期	1.30	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	26,007	14,075	54.1
23年3月期	25,763	14,342	55.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 14,075百万円 23年3月期 14,342百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
24年3月期	—	5.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,800	△1.4	140	△19.8	80	10.2	△30	—	△1.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	19,587,349 株	23年3月期	19,587,349 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	137,005 株	23年3月期	134,483 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	19,451,581 株	23年3月期2Q	19,458,206 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料P.4「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	4
2. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	10
(5) セグメント情報等 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(7) 重要な後発事象 .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で企業の生産活動が大きく抑制され、輸出も減少するといった危機的状況がかなり続いてきました。その後は徐々に持ち直しの兆しが出てきたものの、一方では、電力供給の制約に加え、円高の進行、更には、海外景気の下振れ懸念が強まるなど、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

当社が関係する電機・電子の業界や、自動車、製紙といった業界におきましても、震災の影響でサプライチェーンに甚大な支障が生じたため、特に期初においては生産活動が大きく抑制されました。その後は徐々に回復に向かってきましたが、依然として厳しい状況が続いております。

こうした状況下、当社グループでは、顧客の復旧・復興状況に合わせた適切かつ柔軟な対応と販売製商品の顧客への供給確保を最優先事項として取組み、製品生産のための原材料調達確保や、電力対策としての夏季輪番休日体制の採用、更には、仕入商品の供給安定化などに努めてまいりました。こうした努力で製商品供給面での不安は解消されてきましたが、顧客側での企業活動が大きく抑制されたため、販売は大きく減少いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高は120億1千8百万円（前年同四半期比11.6%減）、営業利益が0.7百万円（前年同四半期比99.7%減）、経常損失が3千3百万円（前年同四半期は経常利益1億7千2百万円）、四半期純損失が5千8百万円（前年同四半期は四半期純利益2千5百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

## 〔高機能材料事業〕

高機能材料事業は、震災の影響で電子部品や自動車部品の関連業界で生産活動が大幅に抑制され、販売製商品の需要が大きく落ち込みました。その後、生産活動が徐々に回復するに伴って需要の持ち直しがみられるようになりましたが、関係業界を取り巻く経済環境は依然として厳しく、先行き不透明な状況が続いております。その結果、当事業全体の売上高は85億5千7百万円（前年同四半期比13.0%減）、営業利益は7千2百万円（前年同四半期比74.1%減）となりました。

## (主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
コーティング製品	携帯電話、パソコン、HDDなどの電子機器業界向けの需要が、震災の影響で大きく落ち込みましたが、外部委託加工の一部内製化などにも取組み、3.2%の減収に留まりました。
高機能樹脂製品	特に自動車部品業界で大幅な生産調整が実施されたため、当該業界向けの製品販売が大きく落ち込み、7.7%の減収となりました。
電子材料	重電業界向け材料では震災からの復興特需もありましたが、全体的には電子機器業界向けの材料需要が震災の影響で大きく落ち込み、更には、一部販売先での商流変更もあったため、15.0%の減収となりました。
機能性樹脂	震災によりプリント基板や家電製品の業界で生産活動が大きく抑制されたこと、更には、前期まで続いた政府の経済支援対策の効果もなくなったことで、当該関係の樹脂需要が大きく落ち込み、21.1%の減収となりました。

[環境材料事業]

環境材料事業は、製紙業界での主要顧客で震災による操業停止を余儀なくされた工場が複数発生し、その後復旧作業が鋭意進められてはきたものの、当期間においてこれら工場向けの製商品販売が大きく落ち込みました。こうした状況下、当社独自の製品拡販にも引き続き注力し、また一方では、被災工場での製紙減産をカバーするための特需的な需要も一部にありましたが、全体的な需要の落ち込みを補うには至りませんでした。その結果、当事業全体の売上高は30億2千9百万円（前年同四半期比9.6%減）、営業利益は2千3百万円（前年同四半期比38.7%減）となりました。

(主な製商品群の概況)

製商品群	概況（数値は前年同四半期との対比）
ファインケミカルズ	拡販活動の成果も一部にありましたが、主要顧客における複数工場で震災による操業停止が長らく続き、これら工場向けの製商品販売が激減した影響で、10.0%の減収となりました。
製紙用化学品	一部の製紙用化学品では震災による特需で販売が伸びたものもありましたが、全体的には被災工場での需要が大きく落ち込んだため、9.5%の減収となりました。

[その他の事業]

その他の事業では、主体の食品材料において、引続く個人消費の低迷や円高基調による販売価格の値下げ圧力が続く中、顧客ニーズに応えるサービスの提供と拡販に努めてまいりました。当期間においては震災の影響もあって、長期保存可能な加工食品向けの乾燥野菜や冷菓向けの食品材料が比較的堅調な状況となり、また、増粘安定剤は一部原料価格が急騰したことを受けて販売価格は高めで推移しました。その結果、当事業全体の売上高は4億3千1百万円（前年同四半期比4.4%増）、営業利益は6千7百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は161億8千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ11億2千1百万円減少いたしました。これは主にたな卸資産が3億8百万円増加したものの、現金及び預金が12億3百万円、受取手形及び売掛金が2億2千4百万円それぞれ減少したことによるものであります。固定資産は98億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億6千4百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が1億4百万円減少したものの、建設仮勘定が10億6千7百万円、建物及び構築物が3億2千6百万円それぞれ増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、260億7百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億4千3百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は65億3千万円となり、前連結会計年度末に比べ1億9千7百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が4億5千6百万円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が6億円増加したことによるものであります。固定負債は54億円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千1百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が4億円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、119億3千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億9百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は140億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億6千6百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が1億5千5百万円（5千8百万円の四半期純損失の計上、9千7百万円の剰余金の配当による減少）、その他有価証券評価差額金が5千8百万円、為替換算調整勘定が4千6百万円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は54.1%（前連結会計年度末は55.7%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して、12億3百万円減少して、61億7千8百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億9千2百万円の資金減少(前年同四半期は3億3千5百万円の資金増加)となりました。その主な要因は、仕入債務が4億5千4百万円減少したこと、たな卸資産が3億1千万円増加したこと、及び減価償却費を3億4百万円計上したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、16億9千7百万円の資金減少(前年同四半期は11億2百万円の資金減少)となりました。その主な要因は、有形固定資産の取得として16億9千万円支出したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、9億2百万円の資金増加(前年同四半期は29億2百万円の資金増加)となりました。その主な要因は、長期借入金の借入れを10億円実行したこと、及び配当金として9千6百万円を支出したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月28日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,382,132	6,178,813
受取手形及び売掛金	7,775,594	7,551,473
たな卸資産	1,835,890	2,144,778
その他	328,475	321,216
貸倒引当金	△19,590	△14,950
流動資産合計	17,302,503	16,181,332
固定資産		
有形固定資産	5,293,141	6,729,945
無形固定資産	248,922	257,468
投資その他の資産		
投資有価証券	1,587,173	1,482,431
その他	1,821,109	1,844,820
貸倒引当金	△488,942	△488,827
投資その他の資産合計	2,919,340	2,838,423
固定資産合計	8,461,404	9,825,838
資産合計	25,763,908	26,007,170
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,322,149	3,865,751
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	1,000,000	1,600,000
未払法人税等	58,218	22,250
賞与引当金	139,187	132,105
その他	413,157	510,259
流動負債合計	6,332,712	6,530,367
固定負債		
長期借入金	4,600,000	5,000,000
退職給付引当金	308,756	267,043
役員退職慰労引当金	44,557	38,407
資産除去債務	62,795	63,067
その他	72,956	32,380
固定負債合計	5,089,065	5,400,898
負債合計	11,421,778	11,931,265

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,115,224	5,115,224
資本剰余金	4,886,268	4,886,268
利益剰余金	4,557,154	4,401,507
自己株式	△44,753	△45,299
株主資本合計	14,513,893	14,357,700
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,541	40,080
繰延ヘッジ損益	603	△4,118
為替換算調整勘定	△270,908	△317,757
その他の包括利益累計額合計	△171,763	△281,795
純資産合計	14,342,129	14,075,905
負債純資産合計	25,763,908	26,007,170

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	13,596,104	12,018,403
売上原価	11,950,827	10,641,789
売上総利益	1,645,276	1,376,613
販売費及び一般管理費	1,435,087	1,375,904
営業利益	210,189	708
営業外収益		
受取利息	4,085	6,678
受取配当金	15,198	16,021
その他	5,461	11,065
営業外収益合計	24,745	33,765
営業外費用		
支払利息	27,961	33,576
債権売却損	3,601	2,657
為替差損	26,206	30,177
その他	4,257	1,579
営業外費用合計	62,027	67,991
経常利益又は経常損失(△)	172,907	△33,517
特別利益		
固定資産売却益	1,382	—
貸倒引当金戻入額	34,698	—
特別利益合計	36,081	—
特別損失		
固定資産売却損	23,048	620
固定資産除却損	1,060	5,023
投資有価証券評価損	1,108	7,848
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57,354	—
特別損失合計	82,571	13,491
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	126,416	△47,008
法人税、住民税及び事業税	82,767	7,987
法人税等調整額	18,424	3,386
法人税等合計	101,192	11,373
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	25,224	△58,382
四半期純利益又は四半期純損失(△)	25,224	△58,382

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	25,224	△58,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△153,095	△58,460
繰延ヘッジ損益	△519	△4,721
為替換算調整勘定	17,203	△46,849
その他の包括利益合計	△136,411	△110,032
四半期包括利益	△111,186	△168,414
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,186	△168,414
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	126,416	△47,008
減価償却費	335,634	304,035
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△34,698	△4,755
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,185	△7,049
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△5,913	△41,713
受取利息及び受取配当金	△19,283	△22,699
支払利息	27,961	33,576
固定資産売却損益(△は益)	21,665	620
固定資産除却損	1,060	5,023
投資有価証券評価損益(△は益)	1,108	7,848
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	57,354	—
売上債権の増減額(△は増加)	152,962	222,942
たな卸資産の増減額(△は増加)	△221,530	△310,689
仕入債務の増減額(△は減少)	△43,979	△454,567
その他	△25,429	△24,374
小計	379,514	△338,812
利息及び配当金の受取額	18,480	22,730
利息の支払額	△30,250	△33,691
法人税等の支払額	△35,820	△42,985
法人税等の還付額	3,171	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	335,096	△392,759
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△962,026	△1,690,870
有形固定資産の売却による収入	8,244	20,000
無形固定資産の取得による支出	△148,314	△17,700
投資有価証券の取得による支出	△3,063	△633
株式売却代金の回収による収入	33,000	—
その他	△30,324	△8,057
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,102,485	△1,697,262
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	500,000	—
長期借入れによる収入	3,000,000	1,000,000
長期借入金の返済による支出	△500,000	—
自己株式の取得による支出	△771	△545
配当金の支払額	△97,206	△96,974
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,902,021	902,479
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,058	△15,776
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,096,575	△1,203,318
現金及び現金同等物の期首残高	6,401,048	7,382,132
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,497,623	6,178,813

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高機能材料 事業	環境材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	9,831,319	3,351,663	13,182,983	413,120	13,596,104
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	9,831,319	3,351,663	13,182,983	413,120	13,596,104
セグメント利益又は損失(△)	278,864	39,153	318,017	68,728	386,746

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	318,017
「その他」の区分の利益	68,728
全社費用(注)	△176,557
四半期連結損益計算書の営業利益	210,189

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	高機能材料 事業	環境材料 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,557,392	3,029,788	11,587,181	431,221	12,018,403
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,557,392	3,029,788	11,587,181	431,221	12,018,403
セグメント利益又は損失(△)	72,126	23,990	96,117	67,404	163,521

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、食品関連素材の輸入販売等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	96,117
「その他」の区分の利益	67,404
全社費用（注）	△162,813
四半期連結損益計算書の営業利益	708

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。